

コアシステムズ

診察時間メール通知

病院向け予約システム

ソフトウェア開発のコアシステムズ(広島県福山市、都築邦昭社長)は、病院向け診察予約システムを開発、受注活動を始めた。患者の携帯電話やパソコンに電子メールで診察開始時刻を通知でき、顧客サービス向上を支援する。初年度100の病院へ導入を目指す。

開発したシステムでは、患者が携帯電話やパソコンからネットを通じて同社が管理するサーバーにアクセス。または病

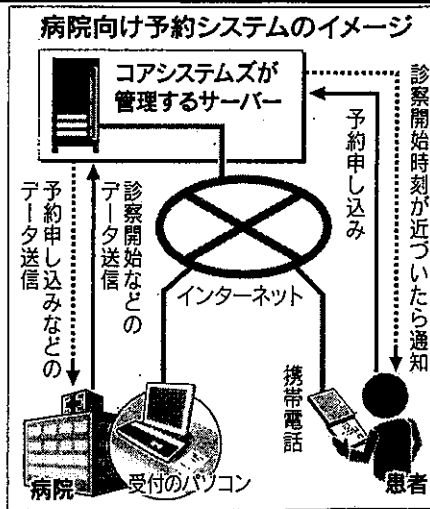
院の受付を直接訪れてタッチパネル式パソコンで入力すると、待ち時間や人数、予約が完了したかどうかを確認できる。

予約が完了した患者から順番に予約者リストに入り、診察が始まったらリストから消える。このうち携帯電話やパソコン

で予約した人は、「リストの先頭から3人を呼ぶ」などと病院が設定した条件に沿って自動的に診察開始時刻が近づいたことを通知する。

急患が入るなど診察の状況によっては待ち時間が長引く場合もある。例えば最初に確認した待ち時間が30分間だったのに、2時間待ちなどと大幅にずれ込んだときは、予約時に入力した電話番号に病院の担当者が直接連絡する。

診察室に來ていない患者には再度メールで通知する。予約システムの病院受付パソコンのタッチパネル式の画面



受付	診察	不在
100	100	100
101	101	101
102	102	102
103	103	103
104	104	104
105	105	105
106	106	106
107	107	107
108	108	108
109	109	109
110	110	110

予約が完了した患者から順番に予約者リストに入り、診察が始まったらリストから消える。このうち携帯電話やパソコン

で予約した人は、「リストの先頭から3人を呼ぶ」などと病院が設定した条件に沿って自動的に診察開始時刻が近づいたことを通知する。

急患が入るなど診察の状況によっては待ち時間が長引く場合もある。例えば最初に確認した待ち時間が30分間だったのに、2時間待ちなどと大幅にずれ込んだときは、予約時に入力した電話番号に病院の担当者が直接連絡する。

診察室に來ていない患者には再度メールで通知する。予約システムの病院受付パソコンのタッチパネル式の画面

すでに受注が決まっている医療機関もあり、8日から広島、岡山県内で営業活動をする。4月からは全国展開し、事業拡大を目指す。

患者の順番を繰り上げるなどパソコン操作はタッチパネル式を採用し、操作しやすくした。

システムはインターネット経由でソフトなどが

「既存のパソコンなどを活用しながら大規模な設備投資をせずに顧客サービス向上につながる点をPRしていきたい」と話している。

をPRしていきたく